

わが社の経営理念

VOL.191

牛丸 和彦（西はりま支部）

株式会社うしまる

常にお客様と同じ目線で行動し、
お客様のお困りごとを解消します

社名：株式会社うしまる
住所：兵庫県揖保郡太子町東南355
役員：代表取締役
氏名：牛丸 和彦
所属：西はりま支部
同友会入会：2007年5月

■事業内容及び企業の沿革

事業内容

快眠寝具、祝儀用品の販売、福祉用具貸与&販売
沿革

明治14年9月30日創業、当初は風呂屋、湯上り客に對し飲食業、そこから金融業としての質店をしながら、大正年間にふとんやを始めた。昭和40年代からブライダルに特化、婚礼ふとんを中心に貸衣裳、その後、結納品を始め、婚礼専門店として平成まで来たが、阪神淡路大震災後の地味婚ブームで顧客のニーズが変わり、婚礼需要が急低下、快眠事業への方向転換、枕、敷ふとんに注力、平成27年より福祉用具貸与、販売に参入し今に至る。

■経営理念成文化のきっかけ

同友会に入会して、初めて経営理念という言葉を知った。その当時は支部例会が毎月あったが、その中でも丸山先生が講師の例会が多かった。入会2年目で入門会に参加、経営理念を創る。

日頃から思っていることをいくつも書いていたら形になった。最初の経営理念は「あくなき快眠の追求と日本文化の伝承に努め、お客様の心豊かな生活をサポートします」で、前述の経営理念は2番目だった。

■経営理念成文化の過程

時代は変わっており、昔と同じやり方ではいけない、新しいビジネスモデルに変えねばならないと思い、のたうち回った。同友会で学んできたことを社内で当てはめようとしては葛藤を招いたし、自分自身も腰が定まらず、たまにいい商売ができるは慣れ親しんだ旧態依然に…。

売上主体、自分主体のやり方をお客様のニーズを聞いて、こちらが変わっていくという形でまずは自分が変わり、会社が変わるには約10年を要した。

■経営理念への想い

消費は多様化しており、売り手が宣伝によって需要を創り出す時代はもうや過ぎ去ったと思う。



消費者のニーズをキャッチするためには、消費者と同じ目線、同じ立場で需要を見い出し、そのお困りごとを解消することを目的にこちらがシーズを変えていく、そしてお役に立つことを経営の理念とともに、あくなき快眠の追求により、肩こり、腰痛といったお困りごとを解消すべく、自分を実験台にして独自の商品を創り上げ、寝心地を体感して頂く寝比べ体感コーナーにてお客様に快眠を提案している。快眠→健康→ロコモ、介護予防の観点から介護保険事業所（事業所番号2874100908）の認可を受け、介護用品の分野へ裾野を広げ、ベビーふとんから介護用品、福祉用具レンタル&販売までを自社のシーズとした。

■これからの夢・抱負

昔からお客様に合わせて自社の業態を変え、2種以上の業種で商品も変えてきた。

これからは、快眠寝具と介護用品の2枚看板で行くが、20年以上培ってきたかつての主力商品、ブライダル寝具、結納品も取り扱い業者が激減しており、残存者利得を狙っていく。

お客様の目線に立ち、小回りとフットワークを生かして、お困りごとを解消していく。

そのために経営理念は必要だが、それがあればすべてうまくいくわけではない。あくまでもツールのひとつであり、世の中の動きにより、理念に沿って方法は変えていかねばならないと思う。

